

Tsuyama College		Year	2017		Course Title	微分積分 I
Course Information						
Course Code	0004		Course Category	General / Compulsory		
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 3		
Department	Department of Integrated Science and Technology Electrical and Electronic Systems Program		Student Grade	2nd		
Term	Year-round		Classes per Week	3		
Textbook and/or Teaching Materials	教科書：齋藤 他著 新 微分積分 I（大日本図書）					
Instructor	YOKOTANI Masaaki,YOSHIDA Eiji					
Course Objectives						
学習目的： 微分・積分の概念と取り扱いに習熟する。						
到達目標 1. 関数の増減表をかいて、極値を求め、グラフの概形をかくことができる。 2. 置換積分および部分積分を用いて、不定積分・定積分を求めることができる。						
Rubric						
	優	良	可	不可		
評価項目1	合成関数を微分することができる。	標準レベルの関数の極限を求めることができる。 積や商の公式を用いて、標準的な関数を微分することができる。	基本的な関数の極限を求めることができる。 基本的な関数を微分することができる。	多項式で表される関数の極限を求めることができる。 多項式で表される関数を微分することができる。		
評価項目2	最大値・最小値を求めることができる。	接線の方程式を求めることができる。 増減表を書いて極値を求め、グラフの概形をかくことができる。	増減表を正しく書くことができる。	微分法を応用することが不十分である。		
評価項目3	置換積分法や部分積分法を用いて、不定積分や定積分を求めることができる。	標準レベルの関数について、不定積分や定積分を求めることができる。	基本的な関数について、不定積分や定積分を求めることができる。	多項式で表される関数を積分することができる。		
評価項目 4	曲線の長さ、立体の体積を求めることができる。	標準レベルの曲線で囲まれた図形の面積や曲線の長さを求めることができる。	基本的な曲線で囲まれた図形の面積を求めることができる。	積分法を応用することが不十分である。		
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	一般・専門の別： 一般 学習の分野： 自然科学系基礎・共通 必修・必履修・履修選択・選択の別： 必履修 基礎となる学問分野： 数物系科学／数学／基礎解析学 学科学習目標との関連： 本科目は「②確かな基礎科学の知識修得」に相当する科目である。 技術者教育プログラムとの関連： 本科目が主体とする学習・教育到達目標は「（A）技術に関する基礎知識の深化」である。 授業の概要： 微分法は積分法とともに、17世紀にニュートンとライプニッツにより発見された。前期では、いろいろな関数を微分することを学び、接線と法線、不定形の極限の求め方などを学ぶ。積分計算が微分法の逆計算であることが認識された後は、多くの求積問題の計算が容易になった。後期では、積分法について学び、図形の面積、曲線の長さ、立体の体積などの求め方を学ぶ。					
Style	授業の方法： 板書を中心に授業を進めていくが、同時に演習時間を出来るだけ多く設け、講義内容をより深く理解し、更に自力で問題を解く力が身につくように配慮する。 成績評価方法： 4回の定期試験（同等に評価し70％）とその他の試験、演習、レポート、授業への取り組み方など（30％）の合計で評価する。成績等によっては、再試験を行う（レポート提出を課す）こともある。再試験は80点を上限として本試験と同様に評価する。試験には教科書・ノート等の持ち込みを許可しない。 遅刻（授業開始後10分経過した後に来た者）の回数が多い場合は、警告を行った後、欠席扱いとすることもある。					
Notice	履修上の注意： 学年の課程修了のために履修（欠席時間数が所定授業時間数の3分の1以上）が必須である。 履修のアドバイス： 予習、復習を必ず行い、また自力で演習問題を解くことによって講義内容をより深く理解していくことが大切である。 基礎科目： 基礎数学（1年） 関連科目： 3年生以降の数学、物理、各専門学科の科目 受講上のアドバイス： 講義内容をよく理解し、自分で問題を解くことが重要である。自力で解法を見出すことを大切にしたい。					
Course Plan						
			Theme	Goals		
1st Semester r	1st Quarter	1st	ガイダンス、関数とその性質、関数の極限			
		2nd	微分係数、導関数			
		3rd	導関数の性質			
		4th	三角関数の導関数、指数関数の導関数			
		5th	合成関数の導関数、対数関数の導関数			
		6th	逆三角関数とその導関数			
		7th	練習問題			

	2nd Quarter	8th	(前期中間試験)	
		9th	前期中間試験の返却と解説, 関数の連続	
		10th	接線と法線, 関数の増減	
		11th	極大と極小, 関数の最大・最小	
		12th	不定形の極限, 高次導関数	
		13th	曲線の凹凸, 媒介変数表示と微分法	
		14th	(速度と加速度はやらない), 平均値の定理, 練習問題	
		15th	(前期末試験) [範囲は第1週から第15週まで]	
		16th	前期末試験答案の返却と解説	
2nd Semester	3rd Quarter	1st	不定積分	
		2nd	不定積分, 定積分の定義	
		3rd	定積分の定義, 数列の基礎事項	
		4th	微分積分法の基本定理, 定積分の計算	
		5th	いろいろな不定積分の公式	
		6th	置換積分法	
		7th	部分積分法	
		8th	(後期中間試験)	
	4th Quarter	9th	後期中間試験の返却と解説, 置換積分法・部分積分法の応用	
		10th	置換積分法・部分積分法の応用, いろいろな関数の積分	
		11th	いろいろな関数の積分	
		12th	図形の面積, 曲線の長さ	
		13th	立体の体積, いろいろな応用 I	
		14th	いろいろな応用 II	
		15th	(学年末試験) [範囲は第1週から第30週まで]	
		16th	後期末試験答案の返却と解説	

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	その他	Total
Subtotal	70	30	100
基礎的能力	70	30	100
専門的能力	0	0	0